

平成24年産 紀南のみかん産地情報

12/12/05

1. 着果状況

早生みかんの着果数は前年よりやや少なく、前回の裏年（22年産）よりも多く、平年並みである。



2. 果実の生育状況及び品質対策

早生みかんの11月5日時点の実肥りは、7月下旬から8月上旬の干ばつの影響を受け、前年・平年に比べるとかなり小さい。11月7～9日の木熟みかん一斉分析結果では、糖度は、露地では前年に比べやや低く、マルチでは前年に比べやや高い。酸度は露地・マルチ共に前年並みとなっている。

木熟みかん一斉分析結果（11/7～9日）

	平成23年			平成24年		
	糖度%	酸度%	最高糖度%	糖度%	酸度%	最高糖度%
露地	11.3	0.94	15.0	10.8	0.90	14.5
マルチ	11.5	0.96	15.4	11.9	0.97	16.3

3. 収穫・販売予定

早生みかんは、秋口の高温・降雨の影響を受けて、減酸が進み、果皮が軟弱に育っているため、収穫・出荷の際の果実の取り扱いには注意を促がしている。

木熟みかんの出荷は12月3日から始まり、出荷ピークは今月中旬頃で、年明けの販売を含め1,900tを見込んでいる。

今後の気象により左右される場合がある。

4. 生産予想量（11/末時点）

品目	面積(ha)	生産予想(t)	予想量前年	予想量平年
極早生	212.2	3,663	109.8	87.5
早生	463.9	6,961	85.4	77.9
合計(普通含む)	679.9	10,664	92.5	81.0